

白老町アイヌ施策基本方針

趣旨

かつて北海道島、サハリン(樺太)、クリル列島(千島列島)等に定住し、山海の豊かな恵みを糧としながら本州、大陸(現在の中国、ロシア等)と交流し、独自の文化と固有の交易圏を保持していたアイヌ民族は、白老町においても先住民として白老町の歴史の基礎を築き上げてきました。

しかしながら、近世以降の和人の流入、明治以降の植民・同化政策の中で、アイヌ民族の歴史は民族の尊厳と自律が失われていくものでもありました。世界的に先住民族の権利や尊厳、文化の回復が進んでいる潮流の中、アイヌ民族の人口が多く、アイヌ文化の振興をまちづくりの施策の一つとしている白老町では、改めて全町民がアイヌ民族とその苦悩の歴史を正しく認識できる社会の創造に努めなければなりません。

以上のことからアイヌ民族の尊厳と自律を回復するとともに、アイヌ文化を次の世代、未来の子どもたちに引き継ぐために、今後の白老町における中長期的な展望に立った総合的方針として「**白老町アイヌ施策基本方針**」を定めるものです。

目的

アイヌ民族の誇りを高める。

全町民がアイヌ民族への正しい認識と理解を深める。

互いの文化を尊重し合える社会の実現に努める。

多文化共存による地域の繁栄を推進する。

上記の目的達成のため、次の重点施策を講じます。

重点施策

1 アイヌ民族、文化を正しく認識し尊重する社会を創造します。

全町民が白老町の歴史を正しく理解し、アイヌ民族とその文化に関する知識、情報を常に共有できるような環境を整えるとともに、あらゆる機関、機会を活用し、アイヌ民族の文化と伝統を尊重する人材を育成します。

それによって、白老町の未来を共に創り上げていくパートナーとして互いを認め合い、今日的課題を含めた諸問題の解決に努める社会を創造します。

2 アイヌ文化の振興と伝承に努めます。

固有の自然観やアイヌ語等、アイヌ文化の復元と創造的継承を継続的に支援します。そのために必要な人材育成と調査研究等の充実に努めます。また、その成果をアイヌ民族やアイヌ文化の振興に携わる町民が活用できる環境づくりに努めます。

3 アイヌ民族の歴史や文化に関する教育の振興を図ります。

白老の子供たちが自らの歴史や文化を平等に正しく学習するための教育の場を確保し、民族意識と誇りの高揚、及び多文化社会についての正しい理解の促進に努めます。

また、共生の精神を育てるため、アイヌ文化の専門知識に関する新たな指導法を構築する仕組みを作り上げることを柱とする教育の振興に努めます。

4 産業の振興、生活環境の充実に努めます。

生産基盤の整備及び、産業の振興に必要な施策を講じるとともに、アイヌ工芸等をはじめとする、アイヌ文化に関する産業の創出、雇用の確保を推進するとともに、生活環境の整備を推進し、アイヌ文化の担い手となる若年層が、安心して暮らせるような生活環境の充実に努めます。

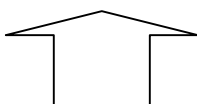
5 アイヌ民族に関する行政を総合的に推進します。

アイヌ民族に対する今までの施策を再検証するとともに、アイヌ民族に関する行政を全体的、有機的に把握し、今後の国際情勢の変動を考慮しつつ、広く町民の意見を取り入れながら総合的視野に立った施策の推進に努めます。

基本方針の体系

目的

- アイヌ民族の誇りを高める。
- 全町民がアイヌ民族への正しい認識と理解を深める。
- 互いの文化を尊重し合える社会の実現に努める。
- 多文化共存による地域の繁栄を推進する。



基本方針

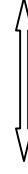
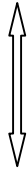
アイヌ民族、文化を正しく認識し
尊重する社会を創造します。

アイヌ文化の振興と伝承に努めます。

アイヌ民族の歴史や文化に関する
教育の振興を図ります。

産業の振興、生活環境の充実に努めます。

アイヌ民族に関する行政を
総合的に推進します。



基本方針に基づく計画の作成、施策の実施

(白老町アイヌ文化振興基本方針及び振興事業計画の推進及び改正等)